

知るぽると ライブラリー vol.2



おこづかいきろく(こづかい帳)

【過去のこづかい帳】



初めて「こづかい帳」を作成したのは、昭和46年。全国2万5千の小学校の6年生児童全員(約160万人)に配付しました



【現在のおこづかいきろく】



※記入欄を書きやすくするために改訂版を検討中

当委員会事務局員が子どものころつけていたこづかい帳(一部抜粋)



反省 “その他”の所が多くなってしまった。これからはなるべく正確な計画をたてるようにしよう。

「おこづかいきろく(こづかい帳)」は、子どもたちが健全な金銭感覚を身につけるうえで、とても役立ちます。当委員会のこづかい帳には、「確認欄」や「おうちの人や先生の感想欄」が設けられています。こうした欄を先生方や保護者の方々が確認することでこづかい帳を書くことを子どもたちに任せきりにせず、子どもたちとのコミュニケーションに役立てることが出来ます。

お金が足りなくて買いたいものが買えなかったり、金額が合わなかったり、何に使ったのか忘れてしまったりといういろいろありますが、どうすれば良いのかを一緒に考えながら、記入を続けていくことが大事です。